

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		自主防犯活動組織育成事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 040202000694		
		政策体系上の位置付け				単独/補助		030401		
政策体系	総合計画の施策名	0402 防犯及び消費生活対策の推進				主要事業		対象外		
	政策名	04 快適で潤いのある生活環境づくり				市長マニフェスト		対象外		
	施策名	02 防犯及び消費生活対策の推進				未来PJ事業		対象外		
	基本事業名	02 防犯体制及び施設の充実				合併建設計画事業		対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	14	01	01	防犯対策事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成17年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	桜川地区の市民が安心して安全に過ごせるまちづくりのために、市民でつくる自主防犯ボランティア組織を育成して、活動を支援する。 ・防犯ボランティア組織の設立時に一人あたり1,000円で30,000円を限度に桜川地区防犯協会から補助をする。 ・防犯パトロール用備品を年1回30,000円を限度に助成する。ただし、防犯ボランティア団体設立時は50,000円を限度とする。 ・防犯パトロール用備品の助成を行う。青色防犯パトロール活動を推進する。 ・青色防犯パトロール車申請に伴う補助 防犯協会より助成している。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	・新規設立を促すため、広報啓発をする。 ・新規設立する団体に設立助成金の申請受付・助成金を交付する。 ・既存団体から防犯パトロール用備品申請を受け付け交付する。 ・青色防犯パトロール車申請のための補助事業

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・防犯ボランティア団体の新規設立、備品助成 ・青色防犯パトロール車申請のための補助事業	自主防犯ボランティア団体数	団体	17.00	20.00	21.00	22.00	23.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民	人口	人	42,444.00	42,048.00	41,653.00	41,256.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
自主的な防犯活動を促し、地域の防犯意識の高揚を図る	防犯ボランティア団体の会員数	人	1,145.00	1,156.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
	新規自主防犯ボランティア団体結成数	団体	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00
	防犯ボランティア用備品助成団体数	団体	5.00	6.00	5.00	5.00	5.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	0	0	0	
			事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	2.00人	3.00人	3.00人	3.00人		
	述べ業務時間	時間	58.30	54.15	50.00	50.00	50.00			
	人件費計(B)	千円	169	157	145	145	148			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	169	157	145	145	148			

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)				29年度事業費 予算(千円)			
		合計		0				合計

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	自主防犯活動組織育成事業	事務事業No.	40202000694	所属課	生活安全課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 防犯パトロール等の活動が犯罪の起こりにくいまちづくりにつながることから、組織の結成が促進されてきた。		
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 自主的な防犯活動につながり必要性が認識されてきている。		
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">改革改善を行う</td> <td>防犯活動の重要性をアピールし、行政区、子供会、PTAなどに設立を促す必要がある。</td> </tr> </table>	改革改善を行う	防犯活動の重要性をアピールし、行政区、子供会、PTAなどに設立を促す必要がある。
改革改善を行う	防犯活動の重要性をアピールし、行政区、子供会、PTAなどに設立を促す必要がある。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民による自主防犯ボランティアを育成し、市民が自分たちの地域を防犯活動することで、市民の繋がりを強くし、安心して暮らしていく環境づくりに結び付く。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域での犯罪を減らすために、市民のボランティア団体を結成し、育成することで地域密着型の防犯活動をしている。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 防犯連絡員と連携し、地域の犯罪を未然に防ぐ活動を増やす。また、参加してくれる団体（市民など）を増やす。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 防犯パトロールや注意喚起などの犯罪抑止を継続することで、未然に犯罪を防ぐことや市民の意識の改善もみられることから廃止すべきではない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 自主防犯活動組織育成事業に類似する事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 桜川地区防犯協会の事業費から助成しているため、事業費はない。また、ボランティアとして事業に参加してくれる市民がまだ少ないので、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地域安全を目指し、市民の安全と防犯意識の向上について活動していることから、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⇒	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td></td> </tr> </table>		成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） <input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	--